

## 創業101年

# YOSHIDAで出会う パテックフィリップ新作

写真・岡村昌宏 文・戸叶庸之 デザイン・小林泰和

2 021年4月にオンライン上で開催された、世界的な時計見本市「ウォッチズ&ワンダーズジュネーブ」。例年にも増して多くの話題作が発表され、世界中の時計の業界関係者や愛好家を大いに賑わせた。なかでも、名門パテックフィリップは、「少数精鋭」という言葉にふさわしい魅力的なラインナップを披露した。

それらの新作が早くも入荷している高級時計店の殿堂がある。2021年に創業101年を迎えた東京・渋谷区幡ヶ谷の老舗時計店『YOSHIDA』だ。同店は、パテックフィリップの正規販売店として30年以上の実績を持つ。本館2階に併設された「パテックフィリップ・フロア」の存在は、両社の信頼の証。パテックフィリップが全世界共通で採用しているショップコンセプトに基づいた開放的な空間には、ゆったりとした「上質な時」が流れている。

内外でも屈指の群を抜いた品ぞろえも、「パテックフィリップ・フロア」の醍醐味であろう。安定した人気を誇る定番から、需要が年々高まっているレディスウォッチ、ブランドの真骨頂である複雑機構を搭載した時計に至るまで、幅広いコレクションを

手に取ることが出来る。

ここでは、2021年の新作から一押しのお3本を紹介する。はじめに取り上げるのは、「ラウンドウォッチの不変の定番」と呼び声の高いカラトラバの最新モデル。「クルー・ド・パリ（ホブネイル・パターン）」と呼ばれる装飾を施したベゼルは、現代的なデザインと重なることで一段と魅力的に映る。永久カレンダー、年次カレンダーなどのカレンダー機構搭載モデルも、さらなる領域に足を踏み入れた。現代のライフスタイルにぴったりの洗練されたデザインや実用性は、特筆すべきものがある。時代の空気を感じさせるパテックフィリップの最新作は、どれも見ごたえがある。『YOSHIDA 東京本店』で、その魅力にぜひ触れてみてほしい。



幡ヶ谷駅から徒歩の「YOSHIDA 東京本店」。「パテックフィリップ・フロア」(写真下2点)以外にも、窓から日本庭園を望む象徴的なサロン「ガーデンサロン」(写真上)があり、ここでもパテックフィリップのコレクションを吟味できる。

右：「カラトラバ 6119」手巻き、18KWG ケース、径39mm、3,399,000円。中：「インライン表示永久カレンダー 5236P」自動巻き、Ptケース、径41.3mm、14,949,000円。左：「年次カレンダー 4947/1A」自動巻き、ステンレススチールケース、径38mm、5,511,000円。\*全て税込。

### INFORMATION YOSHIDA 東京本店

住所 東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-5  
電話番号 03-3377-5401  
営業時間 10:00～20:00  
年中無休(1月1日～1月3日を除く)  
watch-yoshida.co.jp

